

れいわがんねんど  
令和元年度

おおたくしょう      しゃじったいちようさほうこくしょ  
大田区障がい者実態調査報告書

がいようばん  
【概要版】



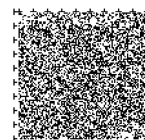
©大田区

大田区公式PRキャラクター

はねびよん

れいわ ねん がつ  
令和2年3月

おお た く  
大 田 区



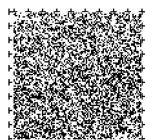
# 目次

## ちょうさ がいよう 調査の概要

1	ちょうさ もくてき 調査の目的	1
2	ちょうさたいしやう 調査対象	1
3	ちょうさきかん 調査期間	1
4	ちょうさほうほう 調査方法	1
5	かいしゅうけっか 回収結果	1

## ちょうさけっか 調査結果

1	せいかつ たい ふあん こま 生活に対する不安、困っていること	2
2	ちいきせいかつ たい ふあん 地域生活に対する不安	4
3	しょうらい く かた 将来の暮らし方	6
4	さーびす う こま サービスを受けるまでに困ったこと	7
5	さーびすりよう まんぞくど サービス利用の満足度	8
6	さーびすりよう ふまん かん サービス利用にあたって不満に感じるこ と	9
7	こんご さーびすりよういこう 今後のサービス利用意向	10
8	しごと うえ ふあん ふまん 仕事をする上での不安や不満	11
9	しょう しゃ しゅうろう うえ たいせつ おも 障がい者が就労する上で大切だと思 うこと	12
10	けんこう いりよう ふあん こま 健康や医療についての不安、困 っていること	14
11	しょう そうきはっけん そうきりようい く ひつよう 障がいの早期発見、早期療育のた めに必要なこと	16
12	きょういく じゅうじつ 教育で充実してほしいこと	17
13	しょうがいしゃさべつかいしょうほう にんちど 「障害者差別解消法」の認知度	18
14	さべつ かん ぼしよ ぼめん 差別を感じた場所や場面	19
15	ちいき ひと のぞ 地域の人に望むこと	21
16	へる ふかーど にんちど 「ヘルプカード」の認知度	23
17	さいがいじ ふあん こま 災害時の不安、困ること	24
18	「さぽーとぴあ」にんちど の認知度	26
19	こんごじゅうじつ きぼう しょう がいしゃしきく 今後充実に希望する障がい者施 策	27



# ■ 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、令和3年度からの次期計画（大田区障害者計画・第6期大田区障害福祉計画・第2期大田区障害児福祉計画・大田区発達障がい児・者支援計画）の策定の基礎資料とするために、障がいのある方の生活の状況や障害福祉サービス等の利用状況、サービス事業者の実態等を把握することを目的として実施しました。

## 2 調査対象

区内在住の障がい者及び区内でサービスを提供している事業者を対象に、3種類の調査票を作成して無作為抽出により調査を実施しました。

## 3 調査期間

令和元年11月28日～12月19日

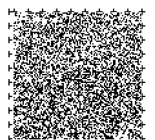
## 4 調査方法

郵送発送、郵送及びインターネットによる回答

## 5 回収結果

調査種別	発送数 (A)	有効回収数 (B)	回収率 (B ÷ A × 100)
① 18歳以上調査	4,500	1,878	41.7%
② 18歳未満調査	1,500	541	36.1%
③ サービス事業者調査	200	106	53.0%
合計	6,200	2,525	40.7%

※ 百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しています。



ちょうさけっか  
■ 調査結果

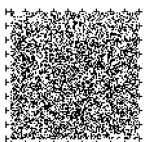
1 生活に対する不安・困っていること

問 あなたは、ご自分の生活のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(〇はいくつでも)

【18歳以上】 問14 (回答者数：1,878名)

●「健康や医療のこと」、「お金のこと」が多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
健康や医療のこと	45.4
お金のこと	39.8
親が亡くなった後の過ごし方	17.4
仕事のこと	17.1
思うように言いたいことが伝えられないこと	17.0
家族のこと	16.9
困ったときの相談先がないこと	9.9
施設やサービスのこと	8.6
自分の自由な時間の過ごし方	6.5
近所付き合いのこと	4.6
進路や就職のこと	4.2
いやがらせや暴力などを受けること	2.7
学校のこと	0.4
特にない	19.6
その他 (無回答2.7%含む)	6.4



●「思うように言いたいことが伝えられない」、「学校のこと」が4割を超えています。

選 択 肢	わりあい 割合 (%)
おも 思うように言いたいことが伝えられないこと	48.2
がっこう 学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	44.4
おや 親が亡くなった後の過ごし方	36.8
しんろ 進路や就職のこと	34.8
かね お金のこと	18.9
けんこう 健康や医療のこと	17.6
しせつ 施設やサービスのこと	17.0
じぶん 自分の自由な時間の過ごし方	10.5
かぞく 家族のこと	8.7
こま 困ったときの相談先がないこと	8.7
いやらせ いやがらせや暴力などを受けること	6.3
きんじょ 近所付き合いのこと	5.2
とく 特にない	13.7
その他 (無回答1.5%含む)	5.4



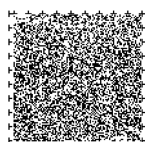
## 2 地域生活に対する不安

問 あなたが、家族と別の家で一人で暮らす場合や、施設や病院から出るときに不安に思う（思った）ことは何ですか。（〇はいくつでも）

【18歳以上】問40（回答者数：1,878名）

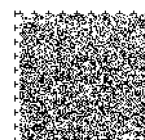
●不安の内容としては「困った時の相談場所」が最も多くなっています。

選 択 肢	割合 (%)
困った時の相談場所	21.9
日常生活を支援するサービス	19.5
隣近所や地域の人との人間関係	16.1
家を探すこと・借りること	15.9
グループホームなど支援のある施設の利用	8.6
いじめやいやがらせ	8.1
特にない	3.4
家族と別の家で一人で暮らしたり、施設や病院から出て地域で暮らしたりすることを希望しない	23.9
その他（無回答9.0%含む）	27.7



●「**困った時の相談場所**」が3割を超えて最も多くなっています。

選 択 肢	割合 (%)
困った時の相談場所	32.5
隣近所や地域の人との人間関係	28.5
日常生活を支援するサービス	27.5
いじめやいやがらせ	24.6
家を探すこと・借りること	17.9
グループホームなど支援のある施設の利用	17.7
特にない	5.5
家族と別の家で一人で暮らしたり、 施設や病院から出て地域で暮らしたりすることを希望しない	13.3
その他（無回答6.7%含む）	27.8



### 3 将来の暮らし方

問 将来（5～10年後）、あなたはどのように暮らしたいとおもっていますか。

（○は1つ）

【18歳以上】問39（回答者数：1,878名）

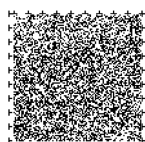
●「家族と暮らしたい」が半数を超えて最も多くなっています。

選択肢	割合 (%)
家族と暮らしたい	51.4
一人で暮らしたい	13.5
施設で暮らしたい	6.0
グループホームなどで暮らしたい	3.8
わからない	18.6
その他（無回答4.8%含む）	6.8

【18歳未満】問39（回答者数：541名）

●「家族と暮らしたい」が7割を超えて、特に多くなっています。

選択肢	割合 (%)
家族と暮らしたい	75.0
一人で暮らしたい	6.1
グループホームなどで暮らしたい	2.4
施設で暮らしたい	1.1
わからない	10.9
その他（無回答3.5%含む）	4.4





#### 4 サービスを受けるまでに困ったこと

問 あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思った時に、困ったことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【18歳以上】問17 (回答者数：1,878名)

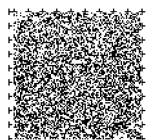
●困りごとは「制度や手続きがわかりにくい」「手続きが大変」が多くなっています。

選択肢	割合 (%)
制度や手続きがわかりにくい	26.7
手続きが大変	20.3
サービスの利用までに時間がかかる	10.6
自分に合った事業者が見つからない	9.4
事業者から断られた	2.8
特に困らなかった	32.1
その他 (無回答19.8%含む)	30.4

【18歳未満】問16 (回答者数：541名)

●18歳以上に比べ「特に困らなかった」との回答が少なくなっています。

選択肢	割合 (%)
手続きが大変	47.0
制度や手続きがわかりにくい	41.2
サービスの利用までに時間がかかる	33.8
自分に合った事業者が見つからない	20.3
事業者から断られた	12.8
特に困らなかった	17.7
その他 (無回答3.0%含む)	16.5



## 5 サービス利用の満足度

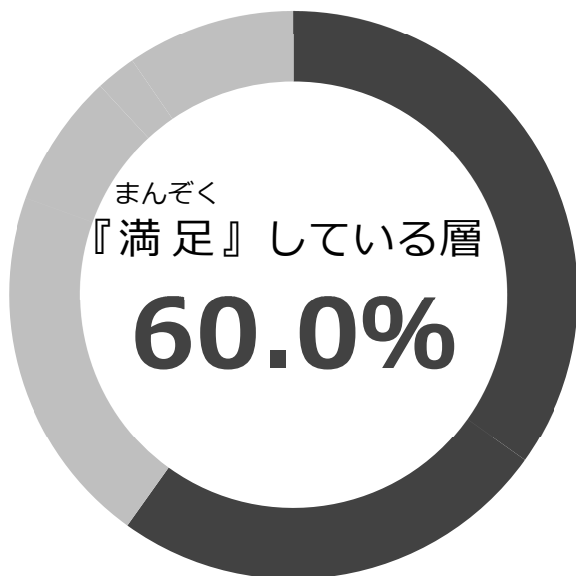
問 (障害福祉サービス等を「使っている」または「なんらかのサービスを使っているが、障害福祉サービス等かはわからない」とお答えの方へ) あなたは、いま使っているサービス全体について、どのくらい満足していますか。(〇は1つ)

【18歳以上】 問21 (回答者数：622名) / 【18歳未満】 問20 (回答者数：393名)

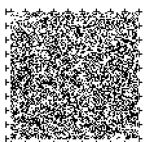
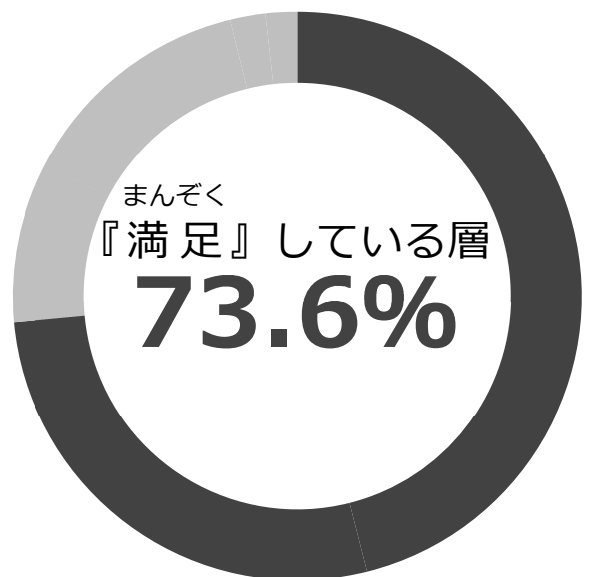
●『満足』している層は、18歳以上は6割、18歳未満は7割以上です。

選択肢	【18歳以上】 割合 (%)	【18歳未満】 割合 (%)
満足している	34.9	46.1
やや満足している	25.1	27.5
ふつう	20.6	9.2
やや不満である	7.6	13.5
不満である	2.3	2.0
無回答	9.6	1.8

【18歳以上】



【18歳未満】



## 6 サービス利用にあたって不満に感じること

問 (「サービス利用の満足度」で「やや不満である」または「不満である」とお答えの方へ) どういった点に不満を感じますか。(〇はいくつでも)

【18歳以上】問22 (回答者数 : 61名)

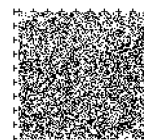
### ●「使いたいときに使えない」が最も多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)	45.9
回数や時間が足りない	27.9
お金が高い(経済的負担が大きい)	23.0
サービスの内容がよくない	19.7
事業者を選べない	14.8
施設が遠い	11.5
家族との連携がとれていない	11.5
その他	34.4

【18歳未満】問21 (回答者数 : 61名)

### ●「使いたいときに使えない」が半数を超えて最も多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)	57.4
回数や時間が足りない	47.5
施設が遠い	26.2
サービスの内容がよくない	23.0
事業者を選べない	21.3
お金が高い(経済的負担が大きい)	19.7
その他	18.0



## 7 今後のサービス利用意向

問 あなたは、「障害福祉サービス等」を今後どのくらい使いたいですか。(〇は1つ)

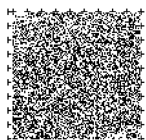
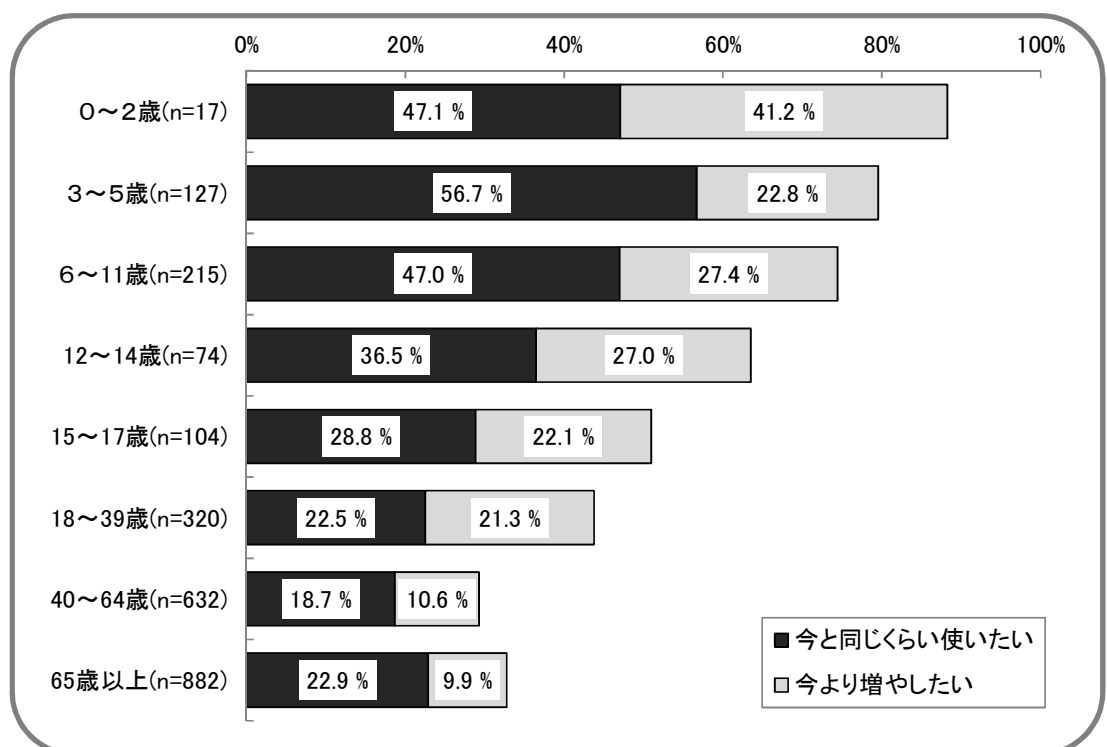
【18歳以上】問23 (回答者数：1,878名) / 【18歳未満】問22 (回答者数：541名)

●18歳以上では「わからない」が最も多くなっています。

18歳未満では「今と同じくらい使いたい」が4割台で最も多くなっています。

選択肢	【18歳以上】割合 (%)	【18歳未満】割合 (%)
今と同じくらい使いたい	21.3	44.0
今より増やしたい	12.1	25.7
今より減らしたい	0.8	0.9
使うつもりはない	10.5	4.4
わからない	47.0	23.1
無回答	8.3	1.8

◆「今と同じくらい使いたい」または「今より増やしたい」人の、年齢別の傾向



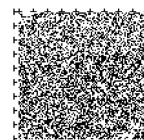
## 8 仕事をする上での不安や不満

問 (「日中、主に過ごしている場所」で「会社などで働いている、または、自分で商売などをしている」とお答えの方へ) 仕事をする上で不安や不満はありますか。(○はいくつでも)

【18歳以上】 問16-2 (回答者数：502名)

●不安や不満として、「給料(もらえるお金)が少ない」が最も多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
給料(もらえるお金)が少ない	29.7
障がいの重度化や体調不良	18.9
職場の人たちとの人間関係がむずかしい	18.3
昇給や昇進に違いがある (なかなか給料(もらえるお金)が上がらない)	12.5
働く条件や契約の内容に不安がある(契約に期限があるなど)	12.2
障がいへの理解が十分でない	12.2
通うのが大変	8.6
相談する人や場所がない	7.8
仕事がむずかしい	5.2
自分に合った内容の仕事がない	5.0
仕事内容が単調(単純)すぎる	3.0
トイレなど障がい者用の設備が十分でない	2.4
特に不安や不満はない	33.7
その他(無回答3.0%含む)	7.0



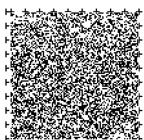
## 9 障がい者が就労する上で大切だと思ふこと

問 あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのようなことが大切だと思ひますか。(○は2つまで)

【18歳以上】問46 (回答者数：1,878名)

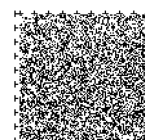
●「健康状態にあわせて働ける」と「障がいへの理解」が3割台と多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
健康状態にあわせて働ける	33.9
職場の人の障がいへの理解	30.5
自分の家や、家の近くで働ける	26.7
障がい者の利用に配慮された設備や職場	18.2
働くところの紹介や相談が受けられる	9.0
企業(会社)への雇用の働きかけ	7.2
職業訓練ができる施設の充実	3.2
わからない	12.4
その他(無回答13.3%含む)	16.2



●「**職場の人の障がいへの理解**」が半数を超えて多くなっています。

選 択 肢	わりあい 割合 (%)
職場の人の障がいへの理解	54.2
自分の家や、家の近くで働ける	28.5
障がい者の利用に配慮された設備や職場	26.6
働くところの紹介や相談が受けられる	19.4
健康状態にあわせて働ける	18.3
企業（会社）への雇用の働きかけ	15.3
職業訓練ができる施設の充実	8.7
わからない	4.4
その他（無回答3.7%含む）	5.4



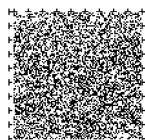
## 10 健康や医療についての不安、困っていること

問 あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(〇はいくつでも)

【18歳以上】問15 (回答者数：1,878名)

### ●「障がいの重度化や病気が悪くなること」が最も多くなっています。

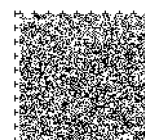
選択肢	割合 (%)
障がいの重度化や病気が悪くなること	39.4
病院にかかるお金の負担が大きい	18.4
栄養管理がむずかしい	12.0
気軽に相談ができない	11.8
薬の管理がむずかしい	10.4
治療の説明がわからない	6.1
通院のための介助者がいない (病院に一緒に行ってくれる人がいない)	5.9
障がい者専門の病院がない	5.6
休日や夜間に対応してくれる病院がない	5.0
特にない	30.5
その他 (無回答3.7%含む)	9.6





●「**障がいの重度化や病気が悪くなること**」が最も多くなっています。

選 択 肢	わりあい 割合 (%)
障がいの重度化や病気が悪くなること	19.4
障がい者専門の病院がない	11.8
気軽に相談ができない	11.3
薬の管理がむずかしい	9.8
栄養管理がむずかしい	7.6
治療の説明がわからない	6.5
病院にかかるお金の負担が大きい	6.3
通院のための介助者がいない (病院と一緒にしてくれる人がいない)	2.2
休日や夜間に対応してくれる病院がない	2.2
特にない	48.2
その他 (無回答3.5%含む)	12.9



11 障がいの早期発見、早期療育のために必要なこと

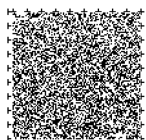
問 あなたは、障がいの早期発見、早期療育を充実させるために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【18歳未満】問48 (回答者数：541名)

●「療育機関(わかばの家を含む)での受け入れを充実させる」が多くなっています。

また、6項目が2割から3割程度で、多くなっています。

選 択 肢	割合 (%)
療育機関(わかばの家を含む)での受け入れの充実	34.2
専門家による相談体制を充実させる	32.0
利用できるサービスについて、的確な情報を提供する	27.9
専門機関と連携し、機能訓練を充実させる	23.1
乳幼児の健康診断を充実させる	20.3
保育園や幼稚園での受け入れを充実させる	20.0
保健師や医師が家庭訪問をして発達や養育を支援する	12.6
その他(無回答5.2%含む)	12.2



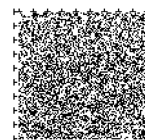
## 12 教育で充実してほしいこと

問 あなたが、教育の場面において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

【18歳未満】問15 (回答者数：541名)

●「障がいに応じた専門的な教育」が最も多くなっています。

選択肢	割合 (%)
障がいに応じた専門的な教育	48.4
状況に応じて学ぶ場を変更できる制度	34.8
学校での受け入れ体制	27.7
普通学級での受け入れ体制	21.1
障がいのある子とない子の交流機会	16.6
その他 (無回答4.6%含む)	11.6



### 13 「障害者差別解消法」の認知度

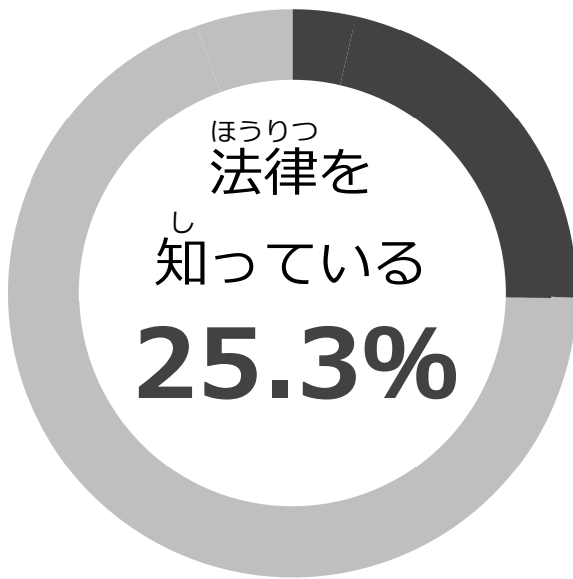
問 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(〇は1つ)

【18歳以上】問31 (回答者数：1,878名) / 【18歳未満】問30 (回答者数：541名)

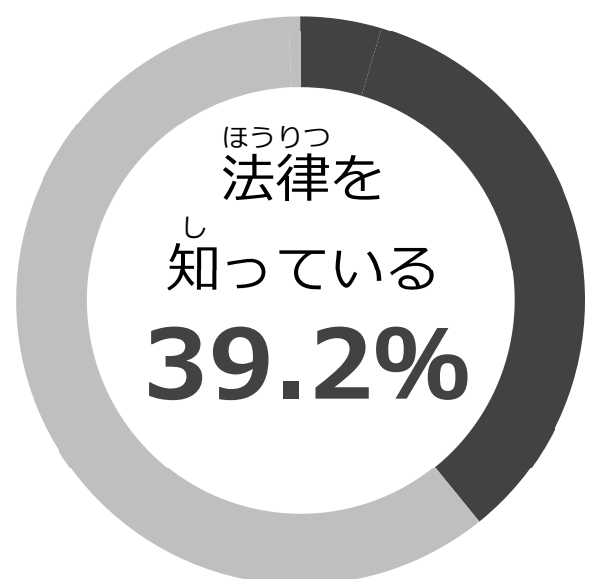
●「法律の内容まで知っている」人は、18歳以上3.6%、18歳未満4.6%です。

選択肢	【18歳以上】割合(%)	【18歳未満】割合(%)
法律の内容まで知っている	3.6	4.6
法律があることは知っている	21.7	34.6
知らない	69.3	60.1
無回答	5.5	0.7

【18歳以上】

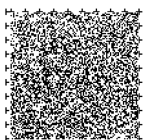


【18歳未満】



◆ 「障害者差別解消法」

正式な名前は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」といいます。平成28年4月からスタートした法律で、だれもおたがいをみとめ合いながら、ともに生きる社会を作りをめざしています。



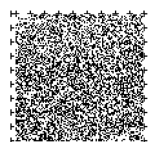
## 14 差別を感じた場所や場面

問 (「差別を感じた経験」で「ある」とお答えの方へ) あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような場所や場面ですか。(〇はいくつでも)

【18歳以上】問33 (回答者数：480名)

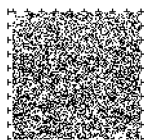
●「職場」と「公共交通機関」が3割前後で多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
職場 (仕事をしているとき)	30.8
公共交通機関や公共施設 (駅など)	28.8
病院や診療所などの医療機関	23.1
学校や教育の場面	22.9
飲食店や買い物をするとき	21.3
近隣や地域 (家の近く)	20.4
区役所などの行政機関	13.5
福祉サービスを受けるとき	9.6
家を借りるとき	6.0



●「<sup>がっこう きょういく ばめん</sup>学校や教育の場面」が<sup>わり こ</sup>6割を超えて<sup>もっと おお</sup>最も多くなっています。

せん たく し 選 択 肢	わりあい 割合 (%)
<sup>がっこう きょういく ばめん</sup> 学校や教育の場面	62.9
<sup>こうきょうこうつうきかん こうきょうしせつ えき</sup> 公共交通機関や公共施設 (駅など)	37.9
<sup>いんしょくてん か もの</sup> 飲食店や買い物をするとき	23.8
<sup>きんりん ちいき いえ ちか</sup> 近隣や地域 (家の近く)	21.8
<sup>びょういん しんりょうじょ いりょうきかん</sup> 病院や診療所などの医療機関	18.5
<sup>くやくしょ きょうせいきかん</sup> 区役所などの行政機関	11.3
<sup>ふくしき - びす う</sup> 福祉サービスを <u>受</u> けるとき	6.0
<sup>いえ か</sup> 家を借 <u>り</u> るとき	2.8



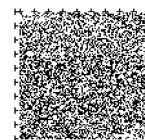
## 15 ちいき ひと のぞ 地域の人に望むこと

問 あなたは、どのようなことを地域の人のしてほしいと思いますか。(〇は2つまで)

【18歳以上】 問47 (回答者数：1,878名)

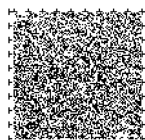
●「**困っている場面を見かけたら、一声かけて手伝いをする**」が多くなっています。

せん たく し 選 択 肢	わりあい 割合 (%)
こま ばめん み 困っている場面を見かけたら、ひとこえ てつだ 一声かけて手伝いをする	40.0
しせつ せつび つか 施設や設備を使いやすいように ばりあふりー はいりょ ー バリアフリーに配慮する	17.9
しょう まな きかい さんか 障がいについて学ぶ機会に参加するなど、りかい ふか 理解を深める	14.9
しごと ちいきかつどう さい しょう しゃ かんが こうどう 仕事や地域活動の際に障がい者のことを考えて行動する	14.5
しょう しゃしせつ い べん と さんか 障がい者施設のイベントに参加するなど、せっきよくてき こうりゅう 積極的に交流する	5.8
ちいき ぎょうじ かつどう おこな しょう しゃ さんか よ 地域の行事や活動を行うときに、障がい者に参加を呼びかける	5.3
しょう しゃ かん ぼらんてい あかつどう さんか 障がい者に関するボランティア活動に参加する	4.5
とく 特にない	25.3
た むかいどう ふく その他 (無回答8.0%含む)	10.3



●18歳以上と同様に、「一声かけて手伝いをする」が最も多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
困っている場面を見かけたら、一声かけて手伝いをする	44.2
障がいについて学ぶ機会に参加するなど、理解を深める	34.0
仕事や地域活動の際に障がい者のことを考えて行動する	18.5
施設や設備を使いやすいようにバリアフリーに配慮する	15.3
障がい者施設のイベントに参加するなど、積極的に交流する	10.0
地域の行事や活動を行うときに、障がい者に参加を呼びかける	8.9
障がい者に関するボランティア活動に参加する	4.8
特にない	10.9
その他（無回答4.1%含む）	7.6





## 16 「ヘルプカード」の認知度

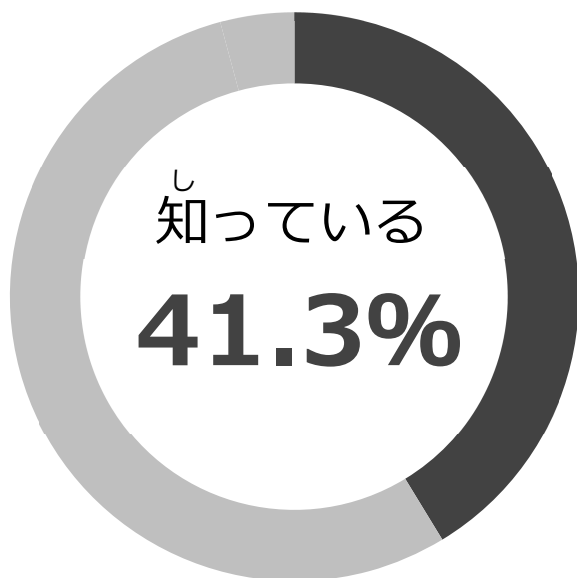
問 あなたは、「ヘルプカード（たすけてねカード）」を知っていますか。（○は1つ）

【18歳以上】問26（回答者数：1,878名） / 【18歳未満】問25（回答者数：541名）

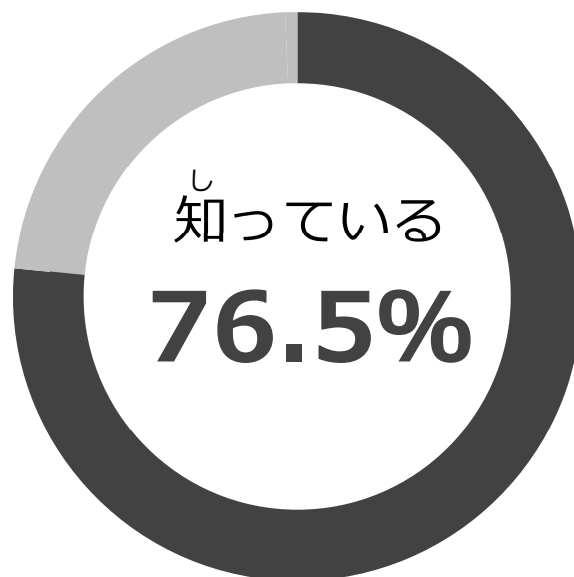
●「知っている」人は、18歳以上は41.3%、18歳未満は76.5%です。

選択肢	【18歳以上】割合 (%)	【18歳未満】割合 (%)
知っている	41.3	76.5
知らない	54.5	22.7
無回答	4.2	0.7

【18歳以上】



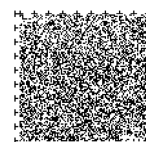
【18歳未満】



### ◆「ヘルプカード（たすけてねカード）」

障がいのある方が、災害のときなど困ったときにサポートを伝えやすくするためのカードです。

障がい者総合サポートセンター・区役所・特別出張所でお渡ししています。



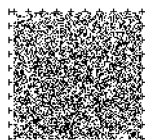
## 17 さいがいじ ふあん こま 災害時の不安、困ること

問 あなたが、さいがい（じしん たいふう 地震や台風など）があったときに、こま（ふあん おも）困ることや不安に思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

【18歳以上】問27（回答者数：1,878名）

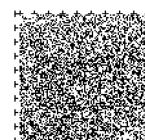
●「かぞく れんらく と ふあん はんすう こ おお 家族と連絡が取れるか不安」が半数を超えて多くなっています。

せん たく し 選 択 肢	わりあい 割合 (%)
かぞく れんらく と ふあん 家族と連絡が取れるか不安だ	52.4
じっさい ひがい じゅうどう 実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない	45.6
ひなんばしょ じぶん どうやく ちりょう う 避難場所で、自分にあった投薬や治療が受けられない	31.3
ひなんばしょ い 避難場所までひとりで行くことができない、 または、ひなん とちゅう ふあん ばしょ 避難する途中に不安な場所がある	28.6
ひなんばしょ する - び と いれ など せつび じゅうぶんととの 避難場所で、スロープやトイレなど設備が十分整っているか不安	26.1
ひなんばしょ し 避難場所を知らない	24.7
ひがい じょうきょう じょうほう て い 被害の状況などの情報を手に入れることがむずかしい	22.3
ひなんばしょ まわ ひと め が き 避難場所での周りの人の目が気になる	20.6
た むかいとう ふく その他（無回答6.9%含む）	14.0



●「家族と連絡が取れるか不安」は7割近くと多くなっています。

選 択 肢	割合 (%)
家族と連絡が取れるか不安だ	68.2
実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない	60.8
避難場所までひとりで行くことができない、 または、避難する途中に不安な場所がある	51.8
避難場所での周りの人の目が気になる	33.3
被害の状況などの情報を手に入れることがむずかしい	30.9
避難場所を知らない	29.0
避難場所で、自分にあった投薬や治療が受けられない	19.8
避難場所で、スロープやトイレなど設備が十分整っているか不安	18.5
その他（無回答2.2%含む）	8.3



## 18 「さぽーとぴあ」の認知度 にんちど

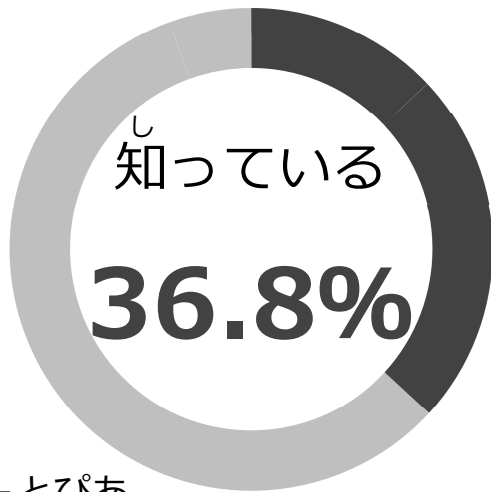
問 あなたは「障がい者総合サポートセンター さぽーとぴあ」を知っていますか。

【18歳以上】問41 (回答者数：1,878名) / 【18歳未満】問41 (回答者数：541名)

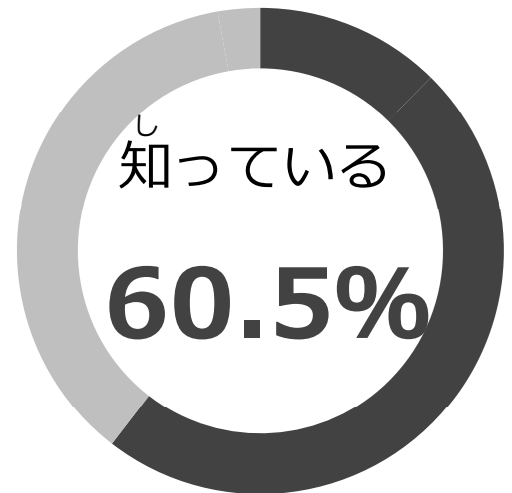
●『知っている』層は、18歳以上は3割、18歳未満は6割を超えています。

選択肢	【18歳以上】割合(%)	【18歳未満】割合(%)
知っていて、利用したことがある	13.0	12.4
名前や場所は知っているが、利用したことはない	23.8	48.1
知らなかった	57.6	36.8
無回答	5.5	2.8

【18歳以上】

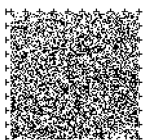


【18歳未満】



### ◆さぽーとぴあ

平成27年から障がいのある方の生活サポートの拠点として開設していた「障がい者総合サポートセンター さぽーとぴあ」が平成31年3月にグランドオープンしました。新たに、医療的ケアもある重症心身障がい児者等を対象とした短期入所や、発達障がい児への支援を開始しました。1階にはカフェもオープンして、地域の皆様には焼きたてパンが好評です。



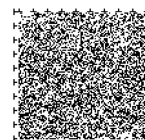
## 19 今後充実を希望する障がい者施策

問 今後、大田区が障がい者への取組を進めていくために、あなたは、特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

【18歳以上】問48 (回答者数：1,878名)

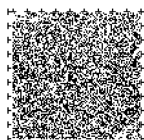
### ●「手当や年金などの経済的な支援」が最も多くなっています。

選択肢	割合 (%)
手当や年金などの経済的な支援	37.8
相談支援や情報提供の充実	29.1
障がいについての理解の促進	18.3
医療やリハビリの充実	18.2
家で受けられるサービスの充実	17.9
災害時の支援体制の整備	16.7
働きやすい環境づくり	12.8
入所施設の整備	11.1
グループホームなどの地域で暮らせる場の整備	11.1
障がい者に配慮された住むところの整備	11.0
交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進	11.0
余暇活動や趣味の講座などの充実	6.8
日中活動の場の整備	4.6
療育や教育の充実	3.0
権利擁護や虐待防止の取組	3.0
ボランティア活動の充実	2.4
その他 (無回答9.4%含む)	12.3



●「療育や教育の充実」が最も多くなっています。

選 択 肢	わりあい割合 (%)
療育や教育の充実	48.4
相談支援や情報提供の充実	35.5
手当や年金などの経済的な支援	30.1
障がいについての理解の促進	28.7
働きやすい環境づくり	22.6
グループホームなどの地域で暮らせる場の整備	15.2
災害時の支援体制の整備	12.0
入所施設の整備	11.1
障がい者に配慮された住むところの整備	10.0
家で受けられるサービスの充実	9.8
日中活動の場の整備	9.6
医療やリハビリの充実	9.1
余暇活動や趣味の講座などの充実	7.8
交通機関や施設などのバリアフリー、ユニバーサルデザインの促進	6.3
権利擁護や虐待防止の取組	5.0
ボランティア活動の充実	1.7
その他（無回答2.8%含む）	5.8



れいわがねんど  
令和元年度

おおたくしょう しやじったいちようさほうこくしょ がいようばん  
大田区障がい者実態調査報告書【概要版】

はっこうねんげつ  
発行年月

れいわ ねん がつ  
令和2年3月

はつ こう  
発行

おおたく ぶくしふ しょうがいぶくしか  
大田区 福祉部 障害福祉課

〒144-8621 おおたくかまた  
大田区蒲田5-13-14

でんわばんごう  
電話番号 03 (5744) 1700

ふあくしみりばんごう  
FAX番号 03 (5744) 1555

